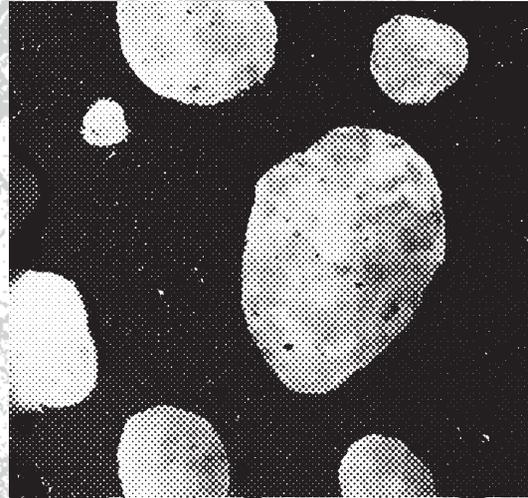
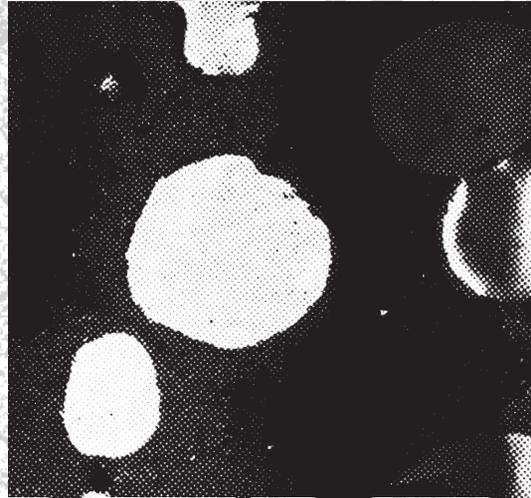


# Scene/Space/Scape

若手アートスペース運営者による集会的実践。近年、学生や若手による小規模なアートスペースの運営が各地に点在的に現れている。藝環会は、そうした運営主体が集い、現場での課題や継続の可能性について検討・共有する試みである。名称は「藝術」と「環」の結合による造語であり、単独的・孤立的に存在するスペース同士を、ネットワーク（リング）として再定義する意図を含む。主催は台東区池之端に拠点をもつアートスペースAVA。イベントはトーク形式で進行し、登壇者は北海道から沖縄までの各地域で実践を行う若手運営者6名、および吉祥寺のArt Center Ongoingを継続的に主宰してきた小川希をゲストに迎える。スペース設立の契機、立ち上げ後に直面した制度的・経済的・人間関係の課題、それらに対する具体的対応、および今後の運営モデルに関する対話が交わされる予定。AVAは二〇二三年四月に開設された学生主導のスペースであり、展示や自主ゼミ、書籍制作などを実施してきたが、同世代の運営者との直接的な交流の機会は乏しかった。藝環会は、そうした断片的実践の結節点を自ら創出するものである。スペース運営における「継続困難性」—— 対し、10年を超える実践者と、始動直後の若手が同一の場で対話を行うことは、継続可能性のモデル化に寄与する。本企画は、リアルな対面を重視する設計である。会場で生まれる「関係の空気」、偶発的な接触や共有がもたらす感覚の質に重きが置かれており、それはオンライン配信では代替不可能とされている。藝環会は、若手運営者のネットワーク形成と知見の共有の場（トポス）を指向する。点在实际の連結と可視化を通じて、地域文化における持続的生態系的一端を担うものとして位置づけられる。本企画の趣旨にご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。



Presented by **AVA 2025** **09/21** **SUN** **14:00**  
**FINISH START** **17:00**

## 若手アートスペースの現在地と 未来を考えるシンポジウム

*Symposium  
on the current state and  
future of young artists' spaces*

@artist-run-space AVA  
東京都台東区池之端2丁目6-12

↑ 台東区芸術文化支援制度  
\*令和7年度台東区芸術文化支援制度対象企画

# GEIKAN 藝環会



# げ い か ん 藝環会

「藝環会」は、全国の若手アートスペース運営者・実践者が集い、現場の課題や継続の可能性を語り合うトークイベントです。北海道から沖縄までの若手6名に加え、吉祥寺のArt Center Ongoingを長年運営する小川希さんをゲストに迎え、立ち上げの困難や運営のリアル、未来のモデルを多様な視点から共有し、地域に持続的な文化のネットワークを育む第一歩となることを目指します。

## 登壇者紹介 (五十音順)



さかし た けんめい  
**坂下 剣盟**

拠点:AVA  
(東京都台東区池之端2丁目6-12)  
東京藝術大学油画専攻4年/AVA代表。「見えてしまったこと」に対する不安や信仰、主体の揺らぎを主題に、視覚の信頼性を問直す作品・テキストを制作。2023年にアーティストランスペースAVAを設立し、展覧会企画や出展を行う。



ひらい しゅうや  
**平井 柊哉**

拠点:0地点  
(北海道札幌市中央区北1条東11丁目15-22)  
2002年、札幌市生まれ。札幌大谷大学芸術学部美術学科研究生。都市体験における精神性を主題として、風景の二次創作を制作中。2024年より共同アートスタジオ0地点に入居。北海道の学生による合同展「北の美大展(仮)」を企画・運営。



ま せ えんや  
**間瀬 円也**

拠点:芸宿  
(石川県金沢市小立野4-2-1)  
2002年 鎌倉市出身。金沢美術工芸大学 彫刻専攻4年/芸宿住人(2024年参加)。一方通行のメッセージから浮かび上がる構造の非対称性や、組織における個人の行動に焦点を当てている。情報が錯綜する現代社会において、自分の目に映るものを見つめ直し、有限性を認識した上で、何を見つめるのかを問いかける。



や た なつみ  
**矢田 夏暉**

拠点:ONE ROOM  
(京都府京都市右京区嵯峨五島町1)\*  
2002年、大阪生まれ。嵯峨美術大学複合領域所属。個が個のまま、思いがけず他者と関わることをテーマに、様々なメディアを用いて制作しています。2023年より、学内企画one roomの実行委員長を務めています。  
\*嵯峨美術大学・短期大学キャンパス内クラブボックス



わたなべ しゅうま  
**渡辺 修昌**

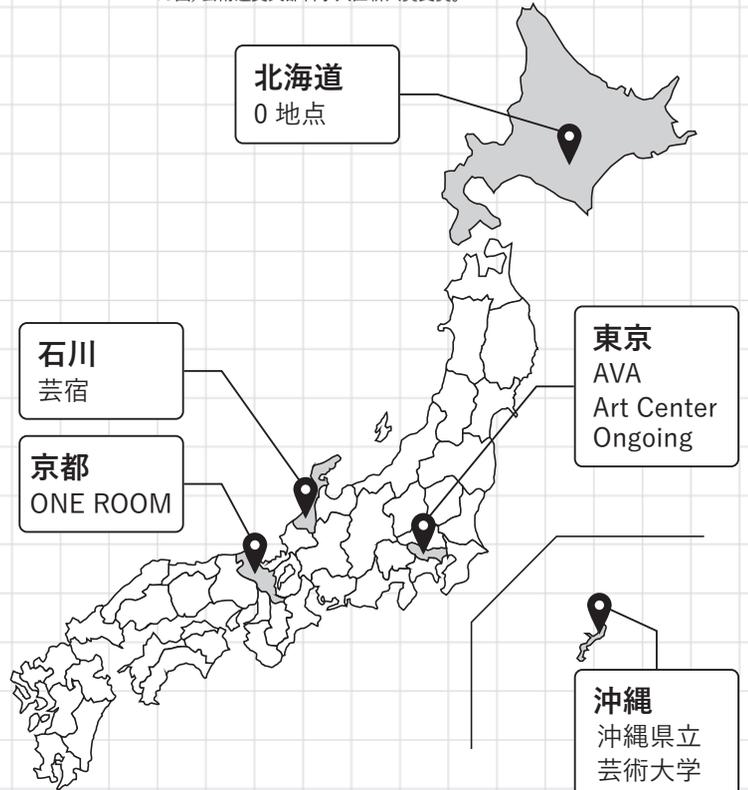
沖縄県立芸術大学 在学中  
2002年、京都市生まれ。沖縄県立芸術大学油画専攻在学。引きこもりの経験から、「部屋」をモチーフに心象風景的な室内画を描いています。私にとって部屋とは原風景であり、時間の知覚そのものでもありました。『惑星ソラリス』の「海」のような、彼岸的な場所です。

## ゲスト



お が わ のぞむ  
**小川 希**

拠点:Art Center Ongoing  
(東京都武蔵野市吉祥寺東町1丁目8-7)  
1976年東京生まれ。Art Center Ongoing及びArt Center NEWディレクター。文化庁新進芸術家海外研修制度にてウィーンに滞在(2021年-2022年)。アートプロジェクトTERATOTERAディレクター(2009-2020年)、レター/アート/プロジェクト「とどく」ディレクター(2020-2022年)ほか、多くのプロジェクトを手掛ける。令和6年度(第75回)芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。



## 構成/企画



司会  
おの まりえ  
**小野 まりえ**  
アーティスト。多摩美術大学美術学部在学。アートスペースAVAの立ち上げ、元運営メンバー。



主催  
アヴァ  
**AVA**  
若手アーティストや学生が主体となって、自主的に運営しているアートスペース。

## アドバイザー

批評家  
みなしま こう  
**南島 興**  
こればーと主宰。2021-2025年6月まで横浜美術館学芸員。

## 概要

時期 …… 2025年9月21日(日)14:00~17:00  
会場 …… artist-run-space AVA/東京都台東区池之端2丁目6-12  
地下鉄千代田線『根津駅』2番出口から2分  
定員 …… 20名限定(要予約)  
参加費 …… 一般:1,500円/学生:無料(当日、学生証を提示)  
オンラインでのライブ配信:1,300円

お問い合わせはメールにて\*予約・お問い合わせ用  
hello.bee.gallery@gmail.com

## AVA公式SNS

X(旧Twitter)  
@space\_ava\_ars



Instagram  
@space\_ava\_ars



お申し込みは左記QRコードから  
(Peatixにリンクします)

## アクセスマップ

